



上野商工会議所 UENO CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY NEWS ニュース



今月の表紙

伊賀流忍者店

〒518-0846 三重県伊賀市上野愛宕町1938

TEL 0595-21-0792

<https://www.rakuten.co.jp/ninja/>

2003年より忍者グッズ専門店としてオリジナルの忍者衣装、忍具などを販売しております。

お客様が求められる本格的で高品質な商品制作を心掛け、国内外を問わず多数の忍者ファンにご来店頂いております。

また、楽天市場での通信販売、観光施設への卸売、忍者体験などの出張営業、忍者衣装のレンタル業務なども行っております。



2020年4月号から役員・議員様の事業所を紹介させていただいています。

今月のTopics

会員ひろば掲載事業所募集中!!

- 令和4年度通常議員総会開催…………… 2
- 会議所の動き（伊賀市・名張市合同企業説明会 ほか）…6,7
- 中小企業相談所だより（インボイス制度について）… 8
- 共済キャンペーンのご案内…………… 12

2023.4

令和5年4月5日発行 第541号

発行所 上野商工会議所 〒518-0873 伊賀市上野丸之内500番地
TEL 0595-21-0527 FAX 0595-24-3857
発行人 専務理事 尾登 誠 URL <http://www.iga-ueno.or.jp/>
E-mail: info@iga-ueno.or.jp

令和4年度通常議員総会開催

～事業計画・収支予算承認される～



令和5年3月30日(木)、上野商工会議所ホールにおいて、通常議員総会を役員議員43名(委任状41名)が参加し、開催いたしました。議案第1号=令和4年度一般会計・中小企業相談所・特別会計補正予算(案)について、議案第2号=令和5年度上野商工会議所事業計画(案)について、議案第3号=令和5年度上野商工会議所一般会計並びに特別会計予算(案)について、の議事はすべて承認されました。

なお、席上で伊賀学検定上級合格者(13名、うち出席者7名)に合格証、職員永年勤続者に感謝状が授与されました。



◇伊賀学検定(上級)合格者

阿嘉 吉弘(大阪府) 藤岡 美穂(伊賀市) 榮井 隆(伊賀市) 中畑亜香里(伊賀市) 磯田 寿子(伊賀市)
松本香代子(伊賀市) 竹岡 良昌(伊賀市) 森川 博光(伊賀市) 上田 克幸(伊賀市)
市野 照男(愛知県) 古瀬 潤一(伊賀市) 村脇有理子(伊賀市) 乾 奈央(奈良県)

伝達式 ・職員永年勤続表彰者

まちづくり課課長・経営指導員	森岡 俊博(勤続30年)
相談・支援課係長・経営指導員	堀 一貴(勤続10年)
総務課員	小松 達彦(勤続10年)

令和5年度事業計画

上野商工会議所は資源価格高騰や物価上昇、コロナ禍の影響が長期化する中で、地域経済団体としての役割を担い、地域を支える中小企業をはじめとする会員企業の事業と雇用を守り、伊賀市が進める「伊賀市産業振興条例」の基本理念や「地方創生」の政策と相まって、地域経済活性化による地方再生への取り組みを進めてまいります。このため、以下重点方針として事業を展開いたします。

第一に、コロナの長期化や物価高の克服に向けた経済対策に対応して相談支援体制を強化し、中小企業・小規模事業者の持続的発展を促すための伴走型支援を展開してまいります。

第二に、「ポストコロナ」を見据えた地域力向上につながる支援事業及び、多様な人材の流入・定着を促進する事業、インフラ整備要望活動や観光振興事業を展開してまいります。

第三に、(株)まちづくり伊賀上野をはじめ、関係する各種団体と連携・協働し、中心市街地活性化事業を展開してまいります。

1. 長引く新型コロナや物価高騰に伴うコスト増に対応した支援体制の強化

- (1) 新型コロナや原油高騰等に関する経営相談窓口を通じた積極的な支援の継続
- (2) 事業の再構築など前向きな取組みに繋がる各種補助金制度や、資金繰り支援が必要な事業者の負担軽減となるコロナ借換保証の周知および活用支援
- (3) 三重県中小企業支援ネットワーク推進事業の周知と経営改善コーディネーターとの連携

2. 地方創生推進及び中小企業経営力強化に向けた支援事業の強化

- (1) 伊賀市総合計画に組み込まれた地方創生政策と相まって

の連携事業の取組み

- ①本社機能移転促進事業
- ②空き店舗・空き地の活用を促進し、魅力ある店舗の誘致事業
- ③伊賀ブランド推進事業
- (2) 「経営発達支援計画」による小規模事業者への伴走型支援
 - ①コロナ禍等で落ち込んだ小規模事業者の持続的発展を促進するため、経営計画の策定や着実な実施の支援、展示会の開催等による新たな販路開拓の支援
 - ②経営指導員、経営支援員の個別事業所への訪問の強化及び支援の充実
 - ③経営一般(金融・税務・労働・情報化・取引・環境対



中外医薬生産株式会社

URL: <http://www.chugai-iyaku.co.jp>

策・創業・源泉徴収事務・決算申告事務等)の相談及び各種講習会の開催

④専門家派遣を活用した高度かつ専門的な課題に対する相談業務の推進

(3) 三重県中小企業・小規模企業振興条例に対応した支援

①三重県版経営向上計画の策定支援

②三重県産業支援センターと連携して、三重県よろず支援拠点各種セミナーや個別相談会の開催

(4)「経営革新等支援機関」として各種補助制度の活用等による経営力強化

①「ものづくり・商業・サービス等補助金」、「小規模事業者持続化補助金」、「事業再構築補助金」、「事業承継補助金」、「IT導入補助金」等の活用支援

②賃上げ、デジタル化、インボイス制度導入等の事業環境変化に対応するため、市・地域金融機関・他の公的機関と連携し、地域の小規模事業者への支援を強化

3. 中小企業の人手不足に対応した支援及び後継者育成事業の強化

(1) ポストコロナに対応した高等学校就職指導担当者と地元事業所との懇談会やインターンシップ受け入れ事業所確保支援事業、合同企業説明会等の実施

(2) インターンシップの充実による小・中・高校生のキャリア教育、地元企業のPR活動の推進

(3) 後継者育成セミナーや事業承継、創業支援等セミナーの実施

(4) 新入社員や中堅社員を対象にした教育セミナー等の充実

(5) 共済事業及び健康経営の啓発・推進による企業価値向上と人材定着化の支援

4. 中心市街地活性化及び観光振興の推進

(1) 第2期伊賀市中心市街地活性化基本計画に基づき、創業や事業承継支援に取組むとともに、魅力ある店舗の創出、集客及びおもてなし支援事業を展開します。

(2) ポストコロナに対応したイベント等を通じての賑わいづくり、街づくりの推進

①市民夏のにぎわいフェスタや上野天神祭、灯りの城下町の開催

②伊賀上野NINJAフェスタ、お雛さん事業の取組み

③「伊賀学検定」の充実による地域の発信

(3) ㈱まちづくり伊賀上野及び他団体との連携事業の推進

①旧上野市庁舎、成瀬平馬屋敷跡を活用した忍者体験施設整備にあたり、面的活用が図れるよう、「伊賀市にぎわい忍者回廊整備事業」への協力

②上野天神宮を核とした周辺商店街再生事業の推進

③「いがぶら」事業等、伊賀の魅力発信事業の推進

④空き家、空き店舗等の活用事業（城下町ホテル等）への協力

(4) 伊賀上野DMO（観光地域づくり法人）への事業支援
伊賀上野DMOの構成員として、観光コンテンツの企画・販売・運営など事業の推進

5. 産学官連携及び農工商連携の推進

(1) 産学官連携により地域課題の解決に向けた取組みの推進

①「ゆめテクノ伊賀（三重大学伊賀研究拠点）」の活動と連携した企業の経営課題の解決や創業支援等の取組み

②「三重大学伊賀連携フィールド」や「国際忍者研究センター」の活動と連携した三重大学市民講座の開催等、文化振興、観光振興に向けた取組み

(2) 農工商連携による地場産商品の新商品開発支援、地場産品の対外PR強化、また展示会やウェブ商談会への出席等の取組みの推進

6. 国、県及び市への政策提言・要望活動の推進

(1) 地域商工業者のコロナ克服、物価高騰対策を含め、県・市等行政機関との意見交換会の開催、政策提言及び予算等の要望活動

(2) 伊賀市の各種計画策定に係る提案要望活動

(3) 管内道路整備として、特に国道368号線の早期4車線化及び名神名阪連絡道路の早期着工、JR関西本線電化、リニア中央新幹線の車両基地誘致など広域インフラ整備の要望活動

(4) 空き家・空き店舗対策のための税制等施策推進の要望活動

(5) 後継者不足に伴う事業者の減少に対応した事業承継支援補助金等の要望活動

7. コミュニティ情報プラザ活用事業の展開

(1) コロナ感染症に対応した商工会議所施設の充実
「会議室」「産業、商品展示コーナー等情報スペース」「パソコン等の情報機器」等を活用し、会員サービス機能、相談機能、情報提供機能等の充実促進

(2) コミュニティ情報プラザ・地域活性化センター事業の推進
①オンラインの活用も含めた様々な講演会、セミナー、講座等による人材育成・資格取得促進等事業の拡充、企業の展示・販売・研修会などの利用促進

②地域の情報提供、交流の促進事業の推進

(3) 地域活性化センター事業の拡充

①三重大学伊賀連携フィールドと連携した三重大学忍者講座を継続的に開催するとともに他団体の参画も含め、伊賀の地域力強化に繋がる取組みの推進

②地域活性化センターの活用を他団体にも広げ、より幅広い交流による地域活性化の推進

(4) 貸事務所事業の適正な運営

8. 商工会議所の運営及びサービス機能の強化

(1) 商工会議所財政基盤、会員増強、共済制度の強化

(2) 常議員会・通常議員総会等の充実と発信力の強化

(3) 会議所ニュースやホームページ、Facebookの充実によるタイムリーな情報を的確、迅速に伝えるなど、発信機能の強化。

(4) 健康経営に基づく事務局体制の充実及び職員の資質向上

HONDA MITSUBISHI MOTORS DAIHATSU SUZUKI NISSAN

新車・中古車販売／車検・安全点検／钣金・塗装／県共済／パソコン教室

お客様により安心・安全をおとどけるため、新たな取り組みで再出発しました。

年中無休

地域限定型

ロードサービス

伊賀地域・亀山鈴鹿地域・津地域

小川モータース

〒518-0007 三重県伊賀市服部町2170番地 服部本社工場 ☎0595-21-2525

<http://www.ogawa-motors.co.jp>

伊賀 小川モータース | 検索

令和5年度上野商工会議所経費収支予算総括表

◎収入の部

(単位千円)

科 目	金 額	説 明	前年度額
1 会 費	34,595	普通会費24,855 特別会費9,740	33,768
2 運 営 協 力 金	0	運営協力金0	3,090
3 交 付 金	47,487	会議所一般事業関係(市) 2,100 小規模事業関係(県他) 40,952 中小企業相談所事務負担金(市) 4,000 その他補助・委託料435	47,055
4 地域活性化関係補助金	2,350	活性化会計2,350	1,516
5 事 業 収 入	39,459	一般会計11,300 プラザ会計1,000 中小企業相談所会計590 共済会計16,373 共済会計(特退) 1,516 活性化会計1,550 労保事務組合会計4,850 庁舎会計2,280	44,913
6 施設利用料収入	15,213	庁舎会計9,786 プラザ会計5,427	14,809
7 特 商 負 担 金	1,154	特商会計1,154	1,182
8 庁 舎 積 立 取 崩 金	2,202	庁舎会計1,202 プラザ会計1,000	2,202
9 財 調 積 立 金 取 崩 収 入	0	一般会計0	0
10 雑 収 入	236	一般会計151 庁舎会計1 プラザ会計1 中小企業相談所会計80 共済会計1 共済会計(特退) 1 活性化会計1	544
11 繰 越 金	32,120	一般会計31,498 プラザ会計0 共済会計622	35,625
総 計	174,816		184,704

◎支出の部

(単位千円)

科 目	金 額	説 明	前年度額
1 事 業 費	29,377	一般会計15,327 プラザ会計1,000 中小企業相談所会計2,920 共済会計800 活性化会計6,900 庁舎会計2,430	27,740
2 給 与 費	63,280	一般会計13,444 プラザ会計1,040 特商会計1,870 中小企業相談所会計39,049 共済会計5,807 労保事務組合会計2,070	61,879
3 福 利 厚 生 費	11,103	一般会計2,395 プラザ会計10 特商会計330 中小企業相談所会計7,151 共済会計907 労保事務組合会計310	10,891
4 会 議 費	1,420	一般会計1,400 共済会計20	1,531
5 調 査 広 報 費	4,500	一般会計4,500	4,574
6 旅 費 交 通 費	590	一般会計250 中小企業相談所会計310 共済会計20 労保事務組合会計10	441
7 什 器 備 品 費	1,710	一般会計1,600 庁舎会計30 共済会計50 共済会計(特退) 30	1,740
8 事 務 費	6,129	一般会計3,700 庁舎会計50 プラザ会計150 特商会計150 中小企業相談所会計430 共済会計735 共済会計(特退) 270 労保事務組合会計644	6,079
9 渉 外 費	200	一般会計200	200
10 公 課 分 担 金	5,500	一般会計5,500	5,350
11 庁 舎 維 持 管 理 費	20,390	庁舎会計13,962 プラザ会計6,428	19,633
12 見 舞 金 等 給 付 金	500	共済会計500	1,300
13 退 職 給 与 積 立 金	3,889	一般会計1,565 中小企業相談所会計1,985 共済会計339	3,837
14 雑 支 出	348	一般会計100 庁舎会計125 プラザ会計53 中小企業相談所会計55 共済会計5 労保事務組合会計10	328
15 別 途 積 立 金	3,000	一般会計3,000	7,000
16 予 備 費	22,880	一般会計21,831 庁舎会計13 プラザ会計0 特商会計0 共済会計978 共済会計(特退) 52 活性化会計0 労保事務組合会計6	32,181
総 計	174,816		184,704

上野商工会議所コミュニティ情報プラザ 貸会議室のご案内

当会議所では、会議・研修会・セミナー・展示会など様々な用途にご利用いただける貸会議室をご用意しております。会員企業は使用料金の割引もございますので、是非ともご利用ください。

ホール

2面使用で最大120名収容可能。ステージを横長に設置し、プロジェクター5台のマルチスクリーンを利用したプレゼンテーション・講演会などを行う事ができます。



コミュニティフロア

テーブルとチェアを設置し、通常時は学生の自習や休憩スペースとして無料で開放しております。貸し切りの場合は、プロジェクターを利用した展示や鑑賞会等が可能です。



セミナールーム

10名程度の小規模な会議や相談会等に利用いただける会議室です。壁の下面のスクリーンボードは、プロジェクター投影のスクリーンとしてもホワイトボードとしても使用可能です。



応接会議室

20名程度の規模の会合等に利用いただける会議室です。



コミュニティ情報プラザ料金表

単位：円（消費税込）

貸室使用料金表（税込）			午前（9時～12時）		午後（13時～17時）		夜間（18時～22時）	
施設の名称	床面積（収容人数）		会 員	非会員	会 員	非会員	会 員	非会員
ホールA	80.47㎡ 24.0坪 (60人)	平 日	3,660	5,500	3,660	5,500	4,760	7,150
		土日祝	4,400	6,600	4,400	6,600	5,860	8,800
ホールB	93.97㎡ 28.0坪 (60人)	平 日	3,660	5,500	3,660	5,500	4,760	7,150
		土日祝	4,400	6,600	4,400	6,600	5,860	8,800
コミュニティフロア (貸切の場合)	171.34㎡ 51.9坪 (100人)	平 日	3,660	5,500	3,660	5,500	4,760	7,150
		土日祝	4,400	6,600	4,400	6,600	5,860	8,800
セミナールームA	24.90㎡ 7.5坪 (16人)	平 日	1,460	2,200	1,460	2,200	1,820	2,750
		土日祝	1,820	2,750	1,820	2,750	2,560	3,850
セミナールームB	24.90㎡ 7.5坪 (16人)	平 日	1,460	2,200	1,460	2,200	1,820	2,750
		土日祝	1,820	2,750	1,820	2,750	2,560	3,850
応接会議室	69.7㎡ 21坪 (24人)	平 日	2,920	4,400	2,920	4,400	3,660	5,500
		土日祝	3,660	5,500	3,660	5,500	4,760	7,150

料金プラン	個人・団体・事業所が使用する場合		上記基本料金
	個人・団体・事業所が営利目的で使用する場合		基本料金の2倍
	冷房・暖房を使用する場合		基本料金の20%割増

設備・備品	ピアノ	1,100	机、椅子、ホワイトボード、展示パネル、プロジェクター、簡易ステージ、マイク、パソコンは無料で貸出します。 ※台数に限りがございますので、ご相談ください。
	金屏風	1,100	

高等学校インターンシップ反省会 3月7日(火)

管内高等学校の進路指導主事・インターンシップ担当者と管内企業のインターンシップ受入担当者による「高等学校インターンシップ反省会」を上野フレックスホテルにて開催いたしました。

インターンシップは、高校生が在学中に自らの学習内容や将来の進路などに関連した就業体験を行うことで、学校から就労段階への円滑な移行が出来るように、社会勉強の一環として求められるようになりました。

また、企業側としてはインターンシップを通じ、より企業を知っていただき、優秀な人材確保や適性判断につながることで、高等学校との連携を図る機会を創出することができます。

当日は、学校・企業関係者等、合わせて53名が参加され、伊賀の将来を担う若者の地元就職及び職場定着を促進し、ひいては地域企業に必要とされる人材確保につなげるため、活発な情報交流をされました。



インターンシップ反省会の様子

伊賀市・名張市合同企業説明会 3月10日(金)

伊賀市、名張市、名張市事業承継人材マッチング支援協議会、名張商工会議所、伊賀市商工会との共催により、「伊賀市・名張市合同企業説明会」を上野フレックスホテルにて開催いたしました。当説明会は、来春卒の大学生・短大生・専門学校生及び未就職者・転職



求職者に説明を行う企業ブースの様子

者等、地元企業への就職希望者の就職促進を図るため、毎年実施しております。コロナ禍におきましては、WEBにて開催しておりましたが、今回3年ぶりに直接面談方式にて対面で開催させていただくことができました。

当日は、来年度の新規・中途採用を計画されている伊賀市・名張市及びその周辺地域の企業60社にご参加いただきました。会場内の密をさけるため、今回初めて第1部(午前)30社、第2部(午後)30社の二部入替制としました。また、株式会社マイナビ様を講師にお迎えし、求職者のための「エントリーシート対策講座」「面接対策講座」も開催いたしました。求職者の方には、午前・午後を通じてのべ150名にご来場いただきました。来場者の皆様は、対面で直接各社の人事・採用担当者から、会社の概要や雇用条件等々の説明を熱心に受けられていました。

伊賀地域 企業ガイドブック2024発刊しました

上野商工会議所では、企業への人材確保の支援として、地域内企業への就職支援等を行っています。

3月に地域を伸ばす会員企業の概要、求人情報等を掲載した「企業ガイドブック2024」を作成し、近隣の大学・高校・関係機関等への配布をしました。

来年度も引き続き、地元企業への就職支援事業を継続してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

※企業ガイドブックについては、当ホームページからご覧いただけます。



伊賀まちなかお使いPARTY開催 3月5日(日)・12日(日)

「出会いがない…」という男女のために、まずは知り合いから友達に発展することができるよう、少人数で会話が弾む場と機会を設けることを目的に、新天地商店街にあるレンタルキッチン『だーこキッチン』を使用し、『伊賀まちなかお使いPARTY』を3/5、3/12に各1回ずつ開催しました。

俳句ゲームで緊張をほぐした後、街中へ出かけ指定の菓子店で全員分のお菓子を買出し、その後フリートークを実施しました。買出しにおいては、まちな

かMAPを見ながら散策することにより、互いに協力協調しあう事が出来たため、その後のフリートークにおいても自然な形で参加者全員が和やかに会話することができました。最後に「プロフィールカード」を任意で交換する場を設けましたが、男女問わず交換する姿が見られました。また、アンケートにおいては、『色々な人と話が来て楽しかった』という声が多数見られ、少人数実施ならではの自然な出会いの場の提供ができました。

イガコレ観光EXPO2023

令和5年3月19日(日)、20日(火祝)の2日間、ハイトピア伊賀管内、駅前広場にて「イガコレ観光EXPO2023」が盛大に開催されました！

当会も構成団体として参画している伊賀上野DMOが主催となり、様々な伊賀で活躍する方々や団体が一堂に会し、ハイトピア伊賀管内ではフォーラムやセミナーが行われ、事業者向けのセミナーとして「2025年を見据えた観光産業」や「にぎわい忍者回廊PFI事業キックオフ説明会」など地域事業者が登壇するシーンも見られ、未来へ想いを馳せる時間となりました。

また、駅前広場では「タベコレ」として伊賀の名産や食がマーケットとして集まり、大変多くの方にお楽しみ頂き、伊賀の魅力を改めて感じるひと時となりました。



青年部だより

3月例会『令和4年度卒業生ふれあい会&卒業生を送る会』開催 3月12日(日)

卒業生ふれあい会と卒業生を送る会の2部構成で3月例会を開催しました。

卒業生ふれあい会では、卒業生のYEGへの考えや入会してから卒業までの足跡を振り返り、思い出や周年事業などの経験を青年部会員と共有し、卒業生と青年部会員がチームに分かれ対決する体験型ゲームでは童心に

かえって体を動かし親睦を深めることができました。

卒業生を送る会では、事前に収録した卒業生のYEGへの想いを語ったインタビューを上映することで、後人へのはなむけとし、また例会の様子をYouTubeで残すことで、記憶だけでなく記録にも残る卒業式となりました。



活動の思い出を振り返る4名の卒業生の皆さん



最後に記念の集合写真！

インボイス制度への対応は検討しましたか？ 本年10月よりインボイス制度スタート！

2023年1月現在

1 ● 適格請求書（以下、インボイス）とは

- ・売手が買手に対して、適用税率や消費税額等を伝えるもので、現行の請求書に「登録番号」「適用税率」「税率ごとに区分した消費税額等」を追記したもの。
- ・インボイスを発行するには、**税務署長に登録申請書を提出し、発行事業者としての登録と、登録番号の通知を受ける必要があります。**
- ・これまで原則として2023年3月末までに登録申請することとされていましたが、4月以降でも可能となりました。

インボイスのイメージ

請求書		△△商事(株)
11月分	131,200円	登録番号 T-012345...
日付	品名	金額
11/1	魚 *	5,000円
11/1	豚肉 *	10,000円
11/2	タオルセット	2,000円
...	...	...
合 計	120,000円	消費税 11,200円
8%対象	40,000円	消費税 3,200円
10%対象	80,000円	消費税 8,000円
		※ 軽減税率対象

(記載事項)

- ① 発行事業者の氏名・登録番号
- ② 取引年月日
- ③ 取引内容(軽減税率対象品目はその旨)
- ④ 税率ごとの合計の対価の額と適用税率
- ⑤ 税率ごとに区分した消費税額等
- ⑥ 交付を受ける事業者名

法人の場合はT+法人番号、
それ以外の場合はT+13桁の数字

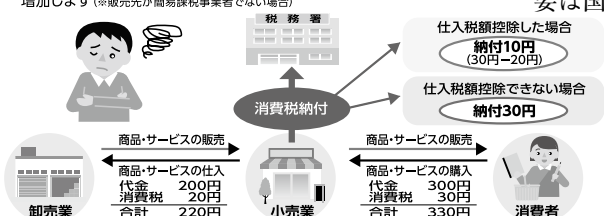
2 ● インボイス制度が始まるとどうなるのか

- ① 自社がインボイスを発行しないと、**販売先が取引を見直す！？**
自社がインボイスを発行しないと、販売先は仕入税額控除ができないので、販売先が取引を見直す可能性があります
 - ② 仕入先がインボイスを発行しないと、**自社の税負担が増加！？**
仕入先からインボイスを入手できないと、自社は仕入税額控除ができないので、自社の税負担の増加につながる可能性があります
- ・①のような状況にならないよう、インボイスの発行を希望する場合は、インボイス発行事業者の登録申請 インボイス制度対応解説小冊子はこちら
 - ・商工会議所ではインボイス制度に関する情報を発信しております。
なお、制度対応について解説した小冊子を提供しておりますので、適宜ご活用ください。
(※2022年9月に第2版を公表。今後、内容を追加・充実させてまいります。)



(参考1) 消費税の仕入税額控除とは

仕入税額控除とは、売上に係る消費税から仕入に係る消費税を引いた金額を納税する仕組みのことです。予定どおり2023年10月からインボイス制度が始まり、仕入先(下図の卸売業)がインボイスを発行しない場合、販売先(下図の小売業)の消費税の納付額が増加します(※販売先が簡易課税事業者でない場合)

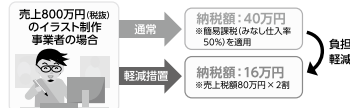


(参考2) インボイス制度導入に伴って講じられる負担軽減措置

インボイス制度導入に係る税負担と事務負担を軽減するための措置が講じられます。主な内容は以下のとおりです。

① 税負担の軽減(3年間の経過措置)

免税事業者がインボイス発行事業者となった場合、納税額を売上税額の2割に軽減



② 事務負担の軽減(6年間の経過措置)

前々年の売上高が1億円以下または前年の上半期の売上高が5千万円以下の事業者における1万円未満の仕入については、インボイスの保存を不要とし、帳簿の保存のみで仕入税額控除を可能に



インボイス制度に適切に対応するためには、消費税の仕組み(簡易課税制度や仕入税額控除に関する経過措置等)について正しく理解する必要があります。詳しくはお近くの税務署・顧問税理士等にお問い合わせください。

申請方法等インボイス制度の概要は国税庁の特設サイトをご確認ください。なお登録申請手続にはe-Taxを利用することをおすすめします。

【国税庁ホームページ】 <https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice.htm>

〈消費税軽減税率・インボイス制度電話相談センター〉

インボイス制度に関する一般的なご相談は、国税庁コールセンターへ

【専用ダイヤル】 0120-205-553 (無料) 【受付時間】 9:00~17:00 (土日祝除く)

コールセンターの
詳細はこちら

インボイス制度
特設サイト



新車・車検・タイヤ・保険・钣金
車に優しい思いやり 愛と誠実

〒518-0825
三重県伊賀市小田町743-2
TEL.0595-23-1531
FAX.0595-23-1772

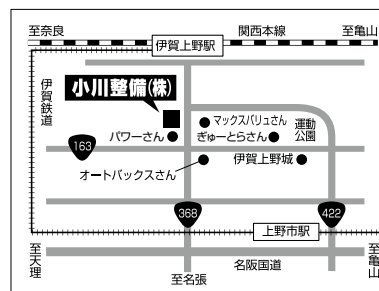
販売
よろこび
整備
あんぜん
保険
あんしん
リース
しんらい



小川整備(株)



0120-48-1532



伊賀連携フィールド 2023年度前期市民講座

「忍者・忍術学講座」開催のお知らせ

第1回 4月22日

忍者学と山鹿流兵学思想

中嶋英介（西安外国語大学副教授）

第4回 7月22日

戊辰戦争における会津藩の情報収集

桑原祐斗（福島県立博物館副主任学芸員）

第2回 5月27日

真田宝物館所蔵忍術書について

山田雄司（三重大学人文学部教授）

第5回 8月26日

江戸の中の伊賀者

高尾善希（三重大学人文学部准教授）

第3回 6月24日

「軍法間林清陽」の発見と考察

福島高仁（甲賀流忍者調査団団員）

第6回 9月30日

忍者の通信手段2－烽火からあぶり出し－

加藤 進（三重大学産学官連携アドバイザー）

場所：ハイトピア伊賀3階 コミュニティ情報プラザホール

参加：無料定員：各回70名（要予約）

予約：上野商工会議所まで

TEL：0595-21-0527（平日 9：00～17：00）

※土・日・祝日は受付ができません。

講座は、後日YouTubeでも公開予定です。

各回 定員70名 要予約

4月講座 4月3日～4月17日

5月講座 5月1日～5月22日

6月講座 6月1日～6月19日

7月講座 7月3日～7月18日

8月講座 8月1日～8月21日

9月講座 9月1日～9月25日

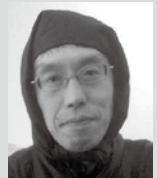
各回来場された方に限り、

翌月の講座のお申し込みが会場にて可能です。

三重大学国際忍者研究センターだより 54の巻

三重大学国際忍者研究センターの高尾善希です。今年、NHK時代劇の大河ドラマは『どうする家康』です。劇中の雰囲気といい、語り口といい、だいぶ現代風のドラマとなっています。いま学生さんたちと話をしている、その会話の中で、どうして若者にとって時代劇に馴染みがないのか？ について、わかったような気がするのです、それについて一言述べます。若者は、里見浩太郎さんや松平健さんなどが出ていた頃の時代劇中の会話をみても、その内容があまり聞き取れないそうなのです。彼らにとって、むづかしい語体というか、古めかしい言葉というか、それが瞬間的に脳裏に文字にならない。だから、聴

覚障がいの方向けの日本語字幕機能でみて、やっと理解できる、ということのようです。これを知り、もはや五十手前のおじさん世代の私としては、若者の現状を知り、まさに目から鱗でした。いま、時代劇研究者の春日太一さんが、若者向けに時代劇案内を何冊も書かれているし、インターネットで昔の時代劇が有料配信されているけれども、そもそも若者にとって、言葉遣いの段階でひっかかってしまうということは、盲点でした。だから、「今風の時代劇」というのを発明しなければならぬ、というのが、昨今の課題のようです。



地元の事業者の強い味方！「商工会議所・商工会」連携ローン

地域活性化ローン「絆」

Face
to
Face

最 高
500万円

担保不要

第三者
保証人不要

詳しくは、お近くの窓口まで
お問い合わせ下さい。



北伊勢上野信用金庫

<http://www.kitaseueno-shinkin.jp/>



「『信長の水』を体験して思ったこと」

安土桃山時代の名前の由来となった安土城は、織田信長が最後に建てた城で、滋賀県近江八幡市安土町にある城址に名残をとどめています。そのお膝元に当たる場所に、織田信長が茶の湯のためにくませた湧き水「梅の川」がありました。現在は地下水の水位が少し下がったために「梅の川」の水は枯れていますが、すぐ近くに今もこんこんと水が湧いている場所が何カ所もあります。

そんな湧き水スポットの真上に建てられた料亭で、食事をする機会がありました。地元で採れる川魚や野菜、果物などをランチのコース料理でいただいたのですが、最初に日本酒を飲むぐい飲みサイズのグラスで、厨房に湧いている水がそのまま何の味付けもせずに出されました。

水の味の微妙な違いを私が分かるわけではありませんが、信長もこの水のおいしさを理解してわざわざ求めていたのかと思うと、何か貴重なものをいただくような厳かな気持ちになりました。たった一口の水ですが、私にとっては強く記憶に残る体験となりました。

料亭でいただいたコース料理は、どれもきれいな器に盛りつけられていて、それぞれの素材の味を生かしながら見た目も美しく、日本料理の技を駆使した良い仕事を感じさせるものでした。素材自体は高級な肉や遠くから取り寄せた海鮮などが使われているわけではなく、あくまでも地元でその時期に採れた旬のものばかりでした。一つひとつの料理を提供するときに、まだ若い料理長からその食材や地域の食文化について、詳しい説明があり、地域の自然や季節に対する感謝の気持ちを主客で共にすることがで

きました。

地域の資源を活用してヒット商品をつくるためにはストーリーが重要だと、よく言われます。私自身もこのコラムをはじめさまざまなところで、何度もそのように取り上げています。「信長の水」体験を通じて感じたことは、ストーリーが体験としてお客さんに届き、深く心に刻まれるためには、もう少し必要な条件があるのではないかとということです。

ストーリーは、演劇でいうと脚本のようなもので、それが観客に届くためには、形にして見せる役者や舞台が必要だというような感覚です。今回の私の体験に置き換えてみれば、ストーリーは「信長が追い求めた水の味」であり、それを形にしたのが「一杯の水」や「その水で育った地域の野菜や川魚」で、さらには一つひとつの料理について語ってくれる料理長さんも役者の役割を果たしてくれたといえそうです。舞台装置に相当するのは、それらをいただいた料亭の快適な空間や、美しい器でしょうか。

おそらく、信長の水に相当するようなストーリーを持つものは、全国各地に多数あるのでしょうか。しかし、ただあるだけでは宝の持ち腐れです。もし良いストーリーがあるのにうまく生かしていないと感じるのであれば、もう一度、それを形にする役者と、役者と顧客をつなぐ舞台が機能しているかどうか、チェックしてみたいかがでしょう。

日経BP総合研究所 上席研究員 渡辺 和博

◇渡辺 和博／わたなべ・かずひろ

日経BP総合研究所 上席研究員。1986年筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年日本経済新聞社入社。IT分野、経営分野、コンシューマ分野の専門誌編集部を経て現職。全国の自治体・商工会議所などで地域活性化や名産品開発のコンサルティング、講演を実施。消費者起点をテーマにヒット商品育成を支援している。著書に『地方発ヒットを生む 逆算発想のものづくり』（日経BP社）。



上野商工会議所 会員の動き

商工業者数	令和5年2月末会員数	組織率
2,618件	1,564件（内特別会員121件）	55.12%




がんばる企業を応援します。

三重県信用保証協会

三重県信用保証協会は、
中小企業の皆さまが事業資金借入をされる際の
「公的な保証人」となってサポートします。
お気軽にご相談ください。



みえ みらいちゃん みえ しんぼくん

本店

津市桜橋3丁目399番地

TEL 059-229-6021 (代表) FAX 059-229-6344

四日市支店

四日市市諏訪町4番5号(四日市市諏訪町ビル5階)

TEL 059-353-9161 (代表) FAX 059-354-2046

<https://www.cgc-mie.or.jp/>



Web Design

ホームページ企画・制作・運営サポート  **伊賀市比土 516**

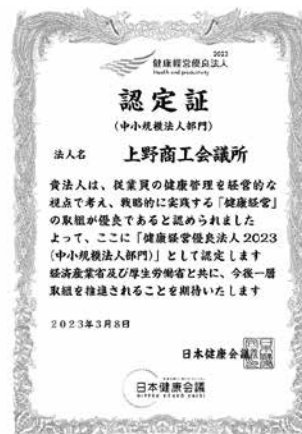
デジタル工房 株式会社 ☎ 0595-51-0349

上野商工会議所が健康経営優良法人2023 (中小規模法人)の認定を受けました！

上野商工会議所は、令和5年3月8日に経済産業省・日本健康会議から『健康経営優良法人2023(中小規模法人部門)』の認定を受けました。

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

今後も健康経営優良法人として、さらなる健康経営に取り組んでいくとともに、地域内における商工業の総合的な発展のため、皆様の「健康経営」への取り組みにサポートさせていただきますので、お気軽にお問合せ下さい。



健康経営優良法人認定制度とは

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取組を基に、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目標としています。

本制度では、規模の大きい企業や医療法人等を対象とした「大規模法人部門」と、中小規模の企業や医療法人等を対象とした「中小規模法人部門」の2つの部門により、それぞれ「健康経営優良法人」を認定しています。



「ためらわずに言いたいことを伝えるには」

「人に振り回されやすい人」にありがちなのが、何か発言しても「どうせ理解してもらえない」「状況は変わらない」といった気持ちを強く持っていることです。要するに、伝える前に諦めてしまっているのです。さらに「言わない人」は、言えないからこそ、相手に「察してほしい」要求を持ちやすく、期待して裏切られると相手のせいにしがちです。相手をコントロールすることはできませんから、いつも不満や不全感を抱くことになりがちです。

日本には古くから「察する」という文化があります。ですから、自分から発言しなくとも相手がこちらの表情や態度から理解を示してくれることが往々にしてあります。しかし、それは関係性や相手次第である上に、必ずしも常にそうしてくれるわけではありません。ましてや職場で、これを求めてしまうのは無理があります。分かり合うためには、自分から率直に意見を述べるのが大切なのです。

「意見を言わない」→「分かってもらえない」→「傷つく」→「言うのを諦める」といったスパイラルに陥らないようにしましょう。このように自分の意見を言うことを諦めてしまうと、心の中に常に不満や怒りをため込むことになります。

それでも何か言うことに不安に感じるのは、はっ

きり意見を言うのを、わがままと捉えてしまう傾向があるからではないでしょうか。「自己主張」と「わがまま」は全く別物です。

人それぞれ、感じ方も違えば意見も違います。それを伝えなければ、実際には何を考えているのか、また求めているのかも分かりません。相手の都合も考えず、一方的に自分の意見をまくしたてるだけで、相手の意向は無視となるとわがままだと思いますが、自分の意見は、はっきりと伝えた上で、折り合えるところを探し、擦り合わせをしていくことこそが、人間関係の基本だということをぜひ心に留めてください。分かり合える関係を築くことで、業務もスムーズに進めたいですね。

日本メンタルアップ支援機構 代表理事
大野 萌子

◇大野 萌子／おおの・もえこ

法政大学卒。一般社団法人日本メンタルアップ支援機構（メンタルアップマネージャ資格認定機関）代表理事、公認心理士、産業カウンセラー、2級キャリアコンサルティング技能士。企業内健康管理室カウンセラーとしての長年の現場経験を生かした、人間関係改善に必須のコミュニケーション、ストレスマネジメントなどの分野を得意とする。防衛省、文部科学省などの官公庁をはじめ、大手企業、大学、医療機関などで5万人以上を対象に講演・研修を行い、机上の空論ではない「生きたメンタルヘルス対策」を提供している。著書に『よけいなひとを好まれるセリフに変える言いかえ図鑑』（サンマーク出版）ほか多数。



もしもの時に・・・お役にたちます！是非この機会にご加入を！
三重県商工会議所連合会 共済増強キャンペーン！！

～商工会議所共済制度は 会員事業所の福利厚生をお手伝いします～

共済制度 加入促進キャンペーンのご案内 5/1(月)▶6/30(金)

会員事業所の経営者・役員の皆様の保障や従業員の福利厚生制度にお役立ていただく事を主な目的として、アクサ生命保険(株)と協力し、5月1日(月)～6月30日(金)まで「生命共済【定期保険(団体型)】」「福祉共済制度」加入促進キャンペーンを実施します。商工会議所職員とアクサ生命保険(株)の担当社員がお伺いした際には、是非ご協力賜りますようお願い申し上げます。

生命共済制度

平成30年7月よりリニューアル！

平成30年7月1日より、ガンや6大生活習慣病の疾病増加に対応する「生存保障」の充実や加入年齢の引き上げといった大幅なリニューアルが実施され保障内容が充実されました。

キャンペーン特典

キャンペーン期間中に共済制度にご加入いただいた事業所の皆様に「粗品」を進呈させていただきます。

お問合せ先 上野商工会議所総務課 TEL0595-21-0527

アクサ生命保険(株)津営業所上野分室(共済制度受託会社) TEL0595-24-1724



4・5月主な事務局行事

- 4月
2日・伊賀の里歴史ウォーキング
12日・青年部例会(通常総会)
市民花火大会実行委員会
県連専務理事会議
- 5月
3日・伊賀上野NINJAフェスタ
5日・IGAMONNO駅前マーケット(伊賀ブランド)
10日・青年部例会
11日・県連専務理事会議
16日・交通運輸部会役員会・総会
18日・全国商工会議所専務理事・事務局長会議
19日・事業環境変化対応型支援事業「個別経営相談会」
24日・正副会頭会議
・部会長会議
・総務財政委員会

社会保険相談会

健康保険・厚生年金の

ご相談に応じています

4月5日・21日

5月19日

毎月第1水曜日と第3金曜日

令和2年8月より予約制になりました。必ずお電話にてご予約の上、お越しください。

※社会保険相談は午前10時～午後3時までです。※コロナウイルス感染症拡大の影響により、相談会が中止になる場合がございますので、事前にお問い合わせ下さい。

予約・お問合せ先 津年金事務所お客様相談室

TEL059-2228-9112

(音声案内①番を選択し②番を再選択)



ベストセラー紹介

(コミック・文庫除く)

令和5年3月期 提供 岡森書店 白鳳店

- 1 伊賀上野お散歩手帖
(首藤善樹・1,000円)
- 2 安倍晋三回顧録
(安倍晋三・橋本五郎・尾山宏・北村滋・中央公論新社・1,980円)
- 3 忍者学大全
(山田雄司編・三重大学国際忍者研究センター監修・東京大学出版会・8,250円)
- 4 徳川家康 弱者の戦略
(磯田道史・文藝春秋・880円)
- 5 好きになってしまいました。
(三浦しをん・大和書房・1,650円)

今月のおすすめの1冊

『伊賀上野お散歩手帖』

首藤善樹著 定価1,000円(税込)

伊賀市上野福居町の首藤善樹さん。もともと高田短期大学(津市)の名誉教授で、寺院史を専門にされていました。

退職後にふるさとへ。リハビリを兼ね、旧城下町の散歩をきっかけに郷土の史跡や歴史に興味をもち、その記録を1冊の本にまとめたそうです。かなり詳しく面白く書かれており、大変読みやすい郷土本です。

親しい方に配布する目的の自費出版だったようですが、郷土史研究家の方々の目にとまり、市内の書店での販売が可能になりました。

これからの季節、街歩きのお供に是非携えていただきたい1冊。伊賀学検定の副教材にもおすすめです。

(※おすすめの本は商工会議所にもあります。)

